令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

【概況１】

社会福祉法人北海道家庭学校

Ⅰ　組織体制について

１　役員

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	家村昭矩	理事	島田光隆
常務理事	仁原正幹	理事	清澤満
理事	熱田洋子	理事	関根春信
理事	太田充子	監事	枝松邦幸
理事	軽部晴文	監事	髙藤和明

２　評議員

浅利誠	坂本満	平出寿
河原英男	佐々木雅昭	廣田洋子
齋藤義信	佐藤京子	森下一彦

３　評議員選任・解任委員会委員

選任区分	氏名	選任区分	氏名
外部委員	吉川紘	事務局員	平井敬二
監事	枝松邦幸	事務局員	楠哲雄
監事	髙藤和明		

４　嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役職名	氏名	役職名	氏名
嘱託医（精神科）	太田充子	苦情解決第三者委員	藤江昭
嘱託医（内科）	瀧本玲子	苦情解決第三者委員	熊谷憲子
嘱託医（歯科）	東海林浩二	事故防止対策委員	木村一則
顧問弁護士	村松法律事務所	事故防止対策委員	高橋久
	村松弘康	事故防止対策委員	浅利誠
山林顧問	森島直樹	事故防止対策委員	神谷博之
山林顧問	佐藤盛市	事故防止対策委員	仁原正幹
酪農顧問	大黒宏		

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただいた。

苦情解決第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただいた。

○苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

合同会議　令和２年２月２１日（金）開催

・家庭学校の現状について

・児童の意向を把握する仕組みについて

・事故の発生状況について

5　北海道家庭学校百年史編集委員会

任期　平成３１年４月１日から令和３年３月３１日まで　　(令和２年３月３１日現在)

委員長	二井仁美	北海道教育大学旭川校　教授
委員	大泉　溥	日本福祉大学　名誉教授
〃	富田　拓	網走刑務所　矯正医官
〃	河原英男	遠軽町教育委員会　教育長
〃	森田　穣	遠軽町立遠軽小学校　校長
〃	阿久津美紀	目白大学　助教
〃	家村昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校　理事長
〃	佐藤京子	社会福祉法人北海道家庭学校　評議員
〃	仁原正幹	社会福祉法人北海道家庭学校　常務理事　校長
〃	熱田洋子	社会福祉法人北海道家庭学校　理事　がんぼうホーム長
〃	軽部晴文	社会福祉法人北海道家庭学校　理事
〃	清澤　満	社会福祉法人北海道家庭学校　理事　副校長
事務局	清澤　満	社会福祉法人北海道家庭学校　理事　副校長
〃	平井敬二	社会福祉法人北海道家庭学校　企画総務部長
〃	楠　哲雄	社会福祉法人北海道家庭学校　自立支援部長

○役職員・外部委員の数　４５名

理　事	８名	監　事	２名
評議員	９名		
嘱託医（精神科　内科　歯科）	３名	酪農顧問	１名
顧問弁護士	１名	山林顧問	２名
事故防止対策委員	５名	苦情解決第三者委員	２名
百年史編集委員	１２名		

Ⅱ　理事会等について

1　理事会の開催状況

開　　催　　日	議　事　案　件
第１回 令和元年５月30日	・平成30年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第４次補正）について ・平成30年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・社会福祉法人北海道家庭学校経理規程の一部改正について ・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正について ・給食棟改築工事に係る入札の実施について ・理事候補者の選考について ・監事候補者の選考について ・評議員会の開催について ・監査報告について ・人事について
書面表決 （定款第26条第２項） 令和元年６月19日	・理事長の選定について ・常務理事の選定について
第２回 令和元年９月24日	・令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第１次補正）について ・独立行政法人福祉医療機構「福祉貸付金」の借入について ・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正について ・「社会福祉法人北海道家庭学校給与規程第５条（昇格）の取扱について（内規）」の規定について ・社会福祉法人北海道家庭学校定年退職者再雇用規程の一部改定について ・「社会福祉法人北海道家庭学校定年退職者再雇用規程の運用について（内規）」の規定について ・監査報告について ・給食棟改築工事入札結課について ・人事について
第３回 令和２年１月30日	・監査報告について ・令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第２次補正）について ・新給食棟の抵当権設定と「社会福祉事業の用に供する不動産の登記に関する証明願」の提出について ・社会福祉法人北海道家庭学校定款の一部変更について ・礼拝堂の修理について ・北海道家庭学校百年史、北海道家庭学校ガイドブック等の発行

	について ・令和２年度社会福祉法人北海道家庭学校の組織機構と役職員人事について
第４回 令和２年３月20日	・監査報告について ・人事について ・社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の一部改定について ・特別顧問の委嘱について ・理事候補者の選考について ・評議員候補者の推薦について ・令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第３次補正）について ・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改定について ・令和２年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について

２　評議員選任・解任委員会の開催状況

開　　催　　日	議　事　案　件
第１回 令和２年３月20日	・評議員の選任について

３　監事監査の実施状況

・令和　元年　５月２０日　　平成３０年度決算監査
・令和　元年　９月１９日　　定期監査
・令和　元年１２月１７日　　定期監査
・令和　２年　３月１０日　　定期監査

Ⅲ　評議員会について

１　評議員会の開催状況

開　　催　　日	議　事　案　件
第１回 令和元年６月17日	・平成30年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について ・理事の選任について ・監事の選任について ・監査報告について
書面表決 （定款第13条第４項） 令和２年２月13日	・社会福祉法人北海道家庭学校定款の一部改正について

Ⅳ　諸規程の整備について

関係法制度等の動きや家庭学校の運営に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1　定款の一部改正

・給食棟改築に伴い給食棟の構造及び床面積を改めました。

2　経理規程の一部改正

・樹下庵診療所の新設に伴い、診療所拠点区分を設けて予算管理するよう改めました。

3　給与規程の一部改正

・心理士の勤務形態の変更に伴い、特殊勤務手当の調整数を改めました。

・給与規程第５条（昇格）の取扱いについて内規を定めました。

・処遇改善手当を加えるとともに、級別標準職務表の文言等を整理するよう改めました。

・国の人事院勧告にならい俸給表を改めました。

4　定年退職者再雇用規程の一部改正

・賞与及び退職金を明記するとともに、文言等を整理するよう改めました。

・規程の取扱いについて内規を定めました。

5　組織規程の一部改正

・事務局長及び特別顧問を新設するとともに、山林顧問及び酪農顧問を明記するよう改めました。

Ⅴ　主要工事・新規購入物品等について

1　給食棟改築工事　　９８，７８０，０００円

2　バター・チーズ工房職員住宅部分改修工事

３，４１０，０００円

3　洗心寮浴室等改修工事　　２，６４０，０００円

4　給食棟食卓テーブルセット（２０組）購入

１，０２２，０００円

5　軽トラック（中古、１台）購入　　２９７，０００円

【概況２】

児童自立支援施設「北海道家庭学校」

Ⅰ　総括

1　暫定定員

令和元年度の暫定定員は２１名でスタートしましたが、入所児童の大幅な増加によって６月以降分について２７名に補正されました。元年度に入所した児童は２０名で、退所した児童は１６名でした。２年３月の初日在籍数は３１名で、年度末の在籍は２１名でした。

2　個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験を有するケース、発達障害を有するケースがともに約9割ありました。集団の中で生活を送ることが困難な児童が増えています。元年度は、３０名の児童に対して心理士による心理療法を１０１回、生活場面面接を１４６回実施しました。

元年６月に開設した樹下庵診療所には、開院した９９日間に７３名の児童（うち家庭学校入所児童３６名）が延べ４７７人受診しました。

3　分校と連携しての学習支援と自立支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校の望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後には作業班学習を分校の授業の中に取り入れており、家庭学校の職員とともに指導に当たっていただいています。多くの行事を連携協力しながら共催で実施しています。

4　中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、家庭学校職員が児童それぞれの進路に応じたプログラムを用意して対応しています。

Ⅱ　職員について

令和元年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。　　(令和２年３月３１日現在)

職名	氏名	職務内容・事務分掌
校長	仁原正幹	総括
副校長	清澤満	総括補佐
企画総務部長	平井敬二	企画総務部総括　法人本部事務・会計
職業指導員	蔓本賢治	主幹（酪農業務）　酪農班指導
〃	蔓本広美	主任（酪農業務）　酪農班指導
主任	加藤留美	施設事務・会計
栄養士	和田希望	栄養管理　給食献立作成　食材調達等管理
自立支援部長	楠哲雄	自立支援部総括
児童自立支援専門員	鬼頭庸介	主幹（寮運営業務・生活指導）　中卒クラス担当　蔬菜班指導
〃	楠美和	主幹（特命：石上館寮母）　給食調理
〃	竹中大幸	主幹（本館業務・作業指導）　中卒クラス担当　校内管理班指導
〃	千葉正義	楽山寮長　蔬菜班指導
〃	藤原浩	掬泉寮長　園芸班指導
〃	窪田満弘	石上館寮長　山林班指導
〃	藤久静恵	本館職員　園芸班指導　給食調理
〃	木元勤	本館職員　中卒クラス担当　山林班指導

児童生活支援員	千葉珠季	楽山寮母　給食調理
〃	藤原美香	掬泉寮母　給食調理
児童生活指導員	大里真子	本館職員　校内管理班指導　給食調理
〃	西村健太郎	本館職員　中卒クラス担当　山林班指導
心理士	姜京任	本館職員　心理担当　診療所受付・会計
嘱託	武田真紀子	給食調理
〃	西村由香	給食調理
〃	栄和子	非常勤講師（中卒クラス担当）
〃	佐々木真哉	非常勤講師（切り絵担当）　酪農業務

○職員数

北海道家庭学校　２５名　　令和２年３月３１日現在

（内　訳）

校　長	１名
副校長	１名
事務職	２名
栄養士	１名
児童自立支援専門員	９名
児童生活支援員	２名
児童生活指導員	２名
心理士	１名
職業指導員	２名
嘱託職員	４名
（調理員	２名）
（非常勤講師	２名）

Ⅲ　児童の現況及び業務の推進状況について

１　入所児童

（１）令和元年度における児童の入退所状況（初日在籍人数及び各月の入退所数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍数	１８	２０	２２	２３	２３	２５	２７	２８	３０	３０	３０	３１	月平均 25.6
入所数	3 (1)	2	1	1	2	2	3	1	1 (1)	1	1	2	２０ (2)
退所数	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	１２	１６

※入所数欄の（　）内は月の初日に入所した児童数の再掲である。

（2）令和元年度における退所児童の進路等の状況

進　路　先		人数	進　路　先	人数
家庭復帰	復　学	0	他の児童福祉施設への措置変更	5
	進　学	7	不結果（児相に再判定依頼）	4
	就　職	0	その他	0
	その他	0		
直接就職		0	計	１６

（3）児童相談所別入退所の状況

区分	中央	旭川	帯広	釧路	函館	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	計
入所	1	3	5	1	1	3	1	3	2	２０
退所	2	4	1	0	2	2	0	1	4	１６

２　寮運営

令和元年度は一般寮３寮（石上館・掬泉寮・楽山寮）を運営しました。

３　作業班学習

月曜・火曜・木曜日の午後、蔬菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の５班に分かれ、作業班学習を行いました。活動内容について、１１月２１日～２２日開催の作業班学習発表会において、児童全員が発表しました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	蔬菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 間伐 倒木･危険木処理 礼拝堂への参道の清掃と整備 神社山の桜整備	スノーポール撤去 側溝砂利上げ 楽山療温床・部材確認 神社山ハウス移設 スキーリフト撤去	牛舎清掃 電牧線張 給餌 排水溝整備
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り 関係者にプランター配布	看板作成 山道の穴の補修作業 桜周辺の下草刈り	楽山療温床・掘削、部材加工 環境整備 カラマツ植樹	牛舎清掃 電牧線張 給餌 牛舎周辺刈払
6月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	桜周辺の下草刈り 礼拝堂駐車場雑木処理 林道整備	楽山療温床・部材加工 味噌小屋周辺環境整備 環境整備	牛舎周辺刈払 環境整備

7月	牧草収納応援 移殖	花の苗定植 花壇の除草	桜周辺の下草刈り 倒木処理	楽山療温床・部材加工、解体 環境整備	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 放牧地雑草取り
8月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	倒木･危険木処理 桜周辺の下草刈り	楽山療温床・防腐剤塗布、解体 環境整備 木工教室で解体・整理	牛舎清掃 牛舎周辺刈払
9月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	倒木･危険木処理 木材運搬	楽山療温床・防腐剤塗布、部材加工 味噌小屋周辺環境整備	牛舎清掃 放牧地周辺刈払 放牧地整備
10月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作り 土作り 花壇の後片付け	倒木･危険木処理 間伐 桜周辺の下草刈りと雑木整備 桜冬囲い	楽山療温床・部材加工、組み立て 味噌天地返し、樽移し替え 味噌小屋掃除 味噌造り 発表会掲示板ペンキ塗り	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 収穫機械の清掃 採草地の土壌分析
11月	作業班学習発表会				
12月	野菜の保存	土焼き	山林作業	スノーポール設置 クリスマスリース製作・設置	給餌 牛舎清掃
1月	除雪	山林班と合同で伐木	山林作業	山林作業	給餌 牛舎清掃 乳製品製造 除雪
2月	除雪	播種 育苗　除雪	山林作業	山林作業	乳製品製造 除雪
3月	除雪	温床整備 播種　育苗	山林作業	山林作業	酪農班としてはなし

4　事故等の状況

（1）事故発生状況

無断外出	２件	２名	２件とも発生当日に近郊路上で発見・保護
暴力行為	２件	３名	他児や職員への暴力行為
日課中の事故	１件	１名	性的逸脱行為

過去５年間の無断外出の発生状況

	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	元年度
件　数	１０	1	1	1	2
延べ人数	１７	1	1	1	2

（2）苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の２カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けています。元年度の苦情受付は１件でした。

内容は、手紙のやり取りできる日数を増やして欲しいというものでした。（制限ない旨を伝えました。）

（3）一群アンケートの実施状況

月に１度、全ての児童を対象にアンケート調査を実施し、記載のあったものについては速やかに対応しました。

5　クラブ活動

令和元年度は、１年を通して土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。
種目は、合気道（通年）と野球（前期）、フットサル（後期）の３種目でした。
合気道は、吉野政明先生と松田茂満先生にご指導いただきました。

6　年間行事等の状況

4月	8日：一学期始業式　15日：散髪奉仕　16日：歯科検診　25日：内科検診 28日：乳製品製造体験
5月	2～3日：校長杯（フットサル・ミニバレー・ソフトボール・サッカー） 6日：潮干狩り　8日：花見の会　22日:マラソン大会
6月	3日：散髪奉仕　16日：運動会
7月	17日：相撲大会　22日：散髪奉仕　24日：釣り遠足 29日：一学期終業式　30日：済美館清掃
8月	1日：慰霊祭　2～15日：夏季一時帰省　19日：二学期始業式
9月	2日：散髪奉仕　24日：創立記念日　25日：マラソン大会　30日：園遊会

10月	2～4日：研修旅行（釧路・北見方面）　21日：散髪奉仕
11月	21～22日：作業班学習発表会
12月	9日：散髪奉仕　10日：木彫展　11日：音楽発表会 22日：クリスマス礼拝・晩餐会　24日：二学期終業式 26日～1月8日：冬季一時帰省
1月	14日：三学期始業式　27～30日：スキー学習　27日：散髪奉仕
2月	12日：スキー大会（滑降）　14日：雪像コンクール 18日：スキー大会（大回転）
3月	16日：散髪奉仕　20日：卒業証書授与式
毎月	平和山記念碑参拝登山　誕生会　朗読会　日曜礼拝（毎週）

7　会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

（1）職員会議　…　毎週1回定例開催（原則水曜日午前）

（2）成績査定会議　…　成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学業賞）を決定
7月17日　12月18日　3月12日

（3）作業班編成会議　…　4月 3日　8月16日　1月9日

（4）給食運営会議　…　毎月1回定例開催

8　関係機関との連携・打合せ

（1）児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。また、運動会、作業班学習発表会、卒業証書授与式の際には各児童相談所に案内をしました。

（2）関係機関との連携

例年は卒業証書授与式には原籍校の校長などの出席を求め、分校が案内していましたが、元年度は新型コロナウイルスの問題があり出席を求めませんでした。

9　児童自立支援計画票の作成

新入生は3か月以内に、3か月以上経過した児童は年2回（5月と11月）に児童自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

Ⅳ　職員研修等について

職員の資質の向上を図るために、職場内研修に努めるとともに、外部の研修会にも積極的に派遣しました。

校長	
・東北・北海道地区児童自立支援施設長会議	4月22日～23日：森町
・佐呂間町高齢者教室「寿大学」での講演	6月4日：佐呂間町
・望の岡分校教員研修会での講義	6月20日：遠軽町
・遠軽町教頭会での講義	11月7日：遠軽町
・札幌第三友の会月例会での講演	12月2日：札幌市
・遠軽町「瞰望大学」での講演	12月13日：遠軽町
副校長	
・全国児童自立支援施設長会議	6月4日～10日：山梨県
企画総務部	
・チーズの製造実習	4月4 日：興部町　蔓本主幹
・チーズの製造実習	4月8日～9日：興部町　蔓本主幹
・チーズの製造実習	4月26日：興部町　蔓本主幹
・児童福祉施設栄養士研修会	7月11 日：紋別市　和田栄養士
・乳和食推進リーダー養成講習会	7月29日～30日：札幌市　和田栄養士
・北海道ナチュラルチーズ製造研修会	8月6日～7日：旭川市　蔓本主幹
・給食施設調理者等研修会	9月5日：紋別市　和田栄養士
・ナチュラルチーズ製造技術専門研修会	9月22日～29日：宮城県　蔓本主幹
・社会保険医療担当者指導講習会	10月3日：札幌市　富田医師
・かぼちゃ冷凍処理等視察	11月6日：丸瀬布　和田栄養士、楠(美)主幹、蔓本(広)主任、千葉(珠)支援員
・社会福祉法人会計セミナー	12月12日～13日：札幌市　加藤主任
・社会福祉法人経営実務セミナー	2月16日～17日：札幌市　平井部長
自立支援部	
＜職場内研修・伝達研修＞	
・発達障害児童の理解と対応	5月23日：職員
・新任指導員研修（輪休寮回り）	10月7日～25日：西村指導員
・新任指導員研修（一般寮回り）	10月9日～12月15日：西村指導員
・薬物乱用防止教室	12月13日：職員、児童（分校主催）
＜外部研修＞	
・オホーツク管内児童福祉施設職員研修会	10月18日：北見市　竹中主幹
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会心理部会研修会	11月27日～29日：山形県　姜心理士
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会	12月5日～6日：七飯町　大里指導員

Ⅴ　生産活動について

1　山林経営管理

令和元年度は森林管理計画（５年）の２年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中

心に材木の育成の促進及び健全性のための事業を実施しました。家庭学校の所有のする山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400 haで、樹種は、天燃林が４２％、カラマツが３２％、トドマツが２３％、他にグイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストローブが植えられています。

（1）林班別の面積・樹種

① 遠軽町

７１林班　８８ha　天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ

７２林班　８ha　カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ

７３林班　３ha　カラマツ、天然林広葉樹

７４林班　１２８ha　天然林広葉樹（７８ha)、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ

７５林班　８２ha　天然林広葉樹（４３ha)、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ

７６林班　４６ha　天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストローブ

② 湧別町

１８林班　２１ha　カラマツ、グイマツ

１９林班　２３ha　トドマツ、カラマツ

（2）山林事業の実施状況

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造　林	18－1	カラマツ	5. 03	2, 572, 841	2, 537, 409	35, 432
下草刈り	71－8外	カラマツ	71. 61	776, 520	679, 280	97, 240
間　伐	74－18	トドマツ	8. 96	6, 735, 225	2, 432, 034	4, 303, 191
				材売上げ		10, 204, 112 円
野ねずみ駆除	71－4外	カラマツ	55. 72	234, 075	135, 046	99, 029
皆　伐	18－1	カラマツ	5. 00	材売上げ		4, 125, 000 円

	令和元年度合計	（平成３０年度の状況）
収入　補助金	５，７８３，７６９円	（　７，０１３，９０４円）
材売上げ	１４，３２９，１１２円	（１０，５３１，７０２円）
収入計	２０，１１２，８８１円	（１７，５４５，６０６円）
支出　事業費	１０，３１８，６６１円	（　８，７８４，４９１円）
総収支（収入計－事業費）	９，７９４，２２０円	（　８，７６１，１１５円）

2　営農経営管理

平和寮を改装したでバター・チーズ工房では、バター・チーズ等の乳製品を製造するための設備を整備し、販売のための試作を始めました。バターは、従来のものを改良して発酵バターとすることによりさらに付加価値を高めています。チーズは、製品として一定の成果を

得ることができたものの、販売のために必要な品質の維持・管理、量の確保等を行う必要があることから、令和２年度にはさらなる研究・開発に力を入れることにしています。

（１）牧草収穫量（令和元年度）

	一番牧草				二番牧草			
圃場	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量
向陽寮裏	0.64	6/23	6/26	ロール７本	0.64	9/1	9/5	ロール2.5本
給食棟・楽山寮横	0.9	6/23	6/23	ロール13本	0.9	9/1	9/5	ロール６本
洗心寮前	0.34	6/23	6/26	ロール５本	0.34	9/1	9/5	ロール1.5本
川口畑（小）	0.61	7/6	7/9	ロール８本	0.61	－	－	－
礼拝堂裏	0.7	7/6	7/9	ロール14本	0.7	－	－	－
川口畑（大）	1.37	7/28	7/30	ロール39本	1.37	－	－	－
川口畑（奥）	0.61	7/28	7/30	ロール16本	0.61	－	－	－
四町畑	4.52	7/22	7/24～29	ロール89本	4.52	9/7	9/10	ロール16本
掬泉寮裏	0.52	7/6	7/9	ロール13本	0.52	9/8	9/11	ロール６本
川口畑(手前)	1.5	7/15	9/17	ロール23本	1.5	－	－	－
合計	11.71			ロール227本	9.21			ロール32本
元年度	ロール合計259本							
30年度	ロール合計275本							

（２）飼養頭数

	経産牛							育成牛			総計
年齢	7-10	6	5	4	3	2	小計	1	0	小計	
31年３月	3	4(1)	4(1)	1	3(1)	7(2)	22(5)	4(1)	10(2)	14(3)	36(8)
2年３月	4	3(1)	1	3(1)	5(1)	4(1)	20(4)	7(1)	7(2)	14(3)	34(7)

（　）内はジャージーの頭数で、内数である。

（3）分娩件数、生乳販売等実績

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
分娩件数	20件	26件	20件
生産乳量	126.8t	120.3t	138.8t
生乳販売金額	9,390,114円	8,796,553円	10,434,267円
個体販売頭数	22頭	23頭	19頭
個体販売金額	3,119,283円	2,686,532円	2,776,577円
バター生産量	56.9kg	112.4kg	131.9kg
バター生産個数	455個	562個	586個
チーズ生産量	約455kg （試作含む。）	－	－

Ⅵ　実習生・研修生の受入れ状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数		1		2	2	1	1						7
人数		1		2	3	7	1						14

【概況３】

自立援助ホーム「がんぼうホーム」

Ⅰ　総括

令和元年度は年度当初は在籍者５名からスタートしましたが、年度中に入居者３名、退居者５名で、年度末の在籍者は３名となりました。（定員６名）

入居者は８月に札幌市児相より１名、９月に旭川児相より１名、３月に岩見沢児相より１名。一方、退居者は４月１名、７月２名、１２月１名、３月に１名となっています。

退居者については、ホーム創設以来初めて遠軽高校定時制３年課程を修了し、専門学校に進学した児童が１名出ました。しかしながら、多くの退去者は自立への不安を抱えながらの退居

であり、自立援助ホームとしての支援の難しさを感じました。

就労については、就職先探しと就業が継続できるように支援を行いました。主にハローワークを通じて就労先の情報を得、町内外企業の協力も得て、大型スーパー、飲食店、建設業、水産加工場に就労先を確保しました。

修学については、遠軽高校定時制と連携しながら支援を行い、１名は履修満了して卒業しましたが、３名の新入学者は全員中途退学となりました。

入居者への対応については、不調等生活状況の変化に留意しながら面談を中心に行っており、旭川六条医院と樹下庵診療所の児童精神科受診の支援も行いました。これらについては、措置児童相談所と連携をとりながら対応しました。

Ⅱ　職員について

支援職員４名（うち１名はホーム長を兼ねる。児童自立支援専門員２名うち１名は宿直対応、児童生活指導員１名）

職　　名	氏　　名	職務内容・事務分掌
ホーム長	熱田洋子	総括
児童自立支援専門員	清水真人	主幹
児童生活指導員	清水律子	
児童自立支援専門員	木元　勤	宿直対応

Ⅲ　ホームの現況について

１　入居者の受入状況

・平成３１年４月

入居者５名

就学状況（高校）　定時制４名

・令和２年３月

入居者３名

就学状況（高校）　１名卒業、３名中途退学

・児童相談所別　札幌市児相３名、中央児相１名、岩見沢児相１名、旭川児相１名、北見児相１名、室蘭児相１名

・受入前在籍　児童自立支援施設２名、児童養護施設１名、家庭５名

２　退居の状況

就学１名、家庭復帰１名、就労自立２名、不適応により児童相談所へ一時保護１名

3　入居者の現況

①　定員・在籍数（令和２年３月３１日現在）

定　員	在籍数	入所率
6	3	５０％

②　措置児童相談所

中央	旭川	函館	帯広	釧路	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	合計
1	1	0	0	0	1	1	1	3	8
12.5%	12.5%	0%	0%	0%	12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	100%

③　月別在籍人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日	5	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	3
入居	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
退居	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1
月末	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	3	3

④　初日年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15歳	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2	1	1
16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
17歳	3	3	3	3	1	1	1	1	1	0	0	0
18歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	5	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	3

⑤　在籍期間

～3か月	～6か月	～1年	～1年半	～2年	2年～	計
1	1	3	1	0	2	8
12.5%	12.5%	37.5%	12.5%	0%	25%	100%

4　会議の開催状況

毎週初めに、常勤職員が集まりホーム内打合せを行いました。

5　自立生活援助計画の作成

５月、１１月には、入居者の自立生活援助計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

6　職員研修

・全国自立援助ホーム協議会ホーム長研修会	４月２２日：名古屋市、熱田洋子出席
・全国自立援助ホーム協議会大会	１１月７～８日：横浜市、清水真人・清水律子出席
・自立援助ホーム北海道ブロック交流会	９月１３日：遠軽町、熱田洋子・清水真人・清水律子・木元勤出席